

仏ヶ浦の絶景を満喫！

4月22日(金)、今年もいよいよ観光シーズンを迎え、仏ヶ浦を巡る観光船の運航が始まりました。

この日は、天候に恵まれ、佐井定期観光(株)から招かれた佐井小学校低学年の20人や教職員と父母たちは、船から眺める絶景を楽しんだ後、上陸して奇岩を間近で見物し、そのスケールの大きさにとても驚いていました。



「旧三上家住宅」が県重宝に指定されました

「旧三上家住宅」が平成28年4月18日に県重宝に指定され、4月22日役場村長室で指定書の交付式が行われました。村内においては長福寺所有の木彫十一面観音立像(彫刻)に次ぐ2件目の県重宝指定となります。

旧三上家住宅は、佐井村名誉村民で医師の三上剛太郎の生家で、江戸時代末期の建築と推定されています。1897年に改築し、1964年まで医院としても使用されました。診療室や座敷、常居などはほとんど建築当時のままで、全国的にも貴重な和風医院の特徴を残しています。県重宝の建造物としては、下北地域で初めての指定となりました。

